

住吉市民病院の医療機能継続を

民生保健委員会で尾上康雄議員



地に誘致しようとした南港病院が撤退を表明した後、あらためて民間病院を公募しようとしている。

尾上氏は今回の公募では、住之江区や西成区に

民生保健委員会(9月20日)で尾上康雄議員は、住吉市民病院の廃止(来年3月末)後の医療機能の継続を求めて質問しました。市は廃止後の跡

とって重要な小児科の入院機能は必須条件ではなく、過去の公募水準から後退していると指摘。住吉市民病院の廃止後、新病院はできる限り早く暫

定運営することが望ましいとの項目を入れていることから、「特定の病院で、産科入院と小児科外来という形でも決定できる仕組みではないか」とたどりました。

さらに住吉市民病院が果たしてきた重症心身障害児の短期入所について、現在の利用者の転院先がまだ決まっていないのは重大だと批判。「公

募結果が出れば、新たな病院再編計画を決定する前に住民説明会を行い、住民との合意を得て進めるべき」と求めました。

また尾上氏は、国民健康保険の「都道府県化」に伴う保険料引き上げ問題で質問。市側が「急増した場合は激変緩和措置を講じる」と答えたのに対し、尾上氏は、「緩和期間が過ぎれば値上げになり、根本的解決にならない。今でも保険料は高すぎて払えない。市民生活の実態を見ない保険料に絶対にしてはならない」と強く主張しました。